

講習No.
H12
必修

【必修】教育の最新事情(初等教育)

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間

平成28年10月22日(土)

受講料

6,000円

定員

55人

時間数

6時間

試験方法

筆記試験

講習の概要

「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの領域に関する教育課題について、昨今の状況や動向をもとに、学校教育全体からの視点と初等教育(幼稚園・小学校)の現場に絞った専門的視点から読み解く。主な受講対象者は、幼稚園及び小学校教諭、養護教諭、栄養教諭とする。

担当
講師

寺田 博幸

(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)

中島 千恵

(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)

田中 亨胤

(兵庫教育大学名誉教授、京都文教短期大学非常勤講師)

1限

9:00~10:30(90分)

グローバル時代における「生きる力」

学習指導要領総則の趣旨や近年の審議会の議論を踏まえた上で、グローバル時代における「生きる力」とその力を培うための連携について省察する。とりわけ、幼児期の保育者と小学校教員が連携してどのように「生きる力」を育てていけば良いのか、海外の事例にも触れ、実践への問いを提供する。

2限

10:45~12:15(90分)

教員スタンダードとしての専門的職能性と倫理性

教員に求められる教育実践力の向上につながる基本視座について確かめる。社会変化の現実を受けとめるとともに、教員が身につける「子ども観」「発達観」「教育観」、教員としての倫理性や品格などの諸点から、専門職者としての教員のスタンダードについて省察する。

3限

13:15~14:45(90分)

幼児期、児童期における子どもの発達への理解と子どもの育ちに対する支援の重要性

幼児期から児童期における子どもの発達について理解するとともに、社会や家庭環境の変化に伴う子育て支援の必要性や発達障がいの子どもに対する理解と支援について、臨床心理学的な視点から考察する。

4限

15:00~16:30(90分)

「子どもが互いに認め合い、高め合う学級集団づくり」の取組と教師の役割

個が存在感を実感するとともに、互いに認め合い、高め合う学級集団を形成するため、教師が果たすべき役割や個への働きかけについて、以下の視点から考察する。

- ・学校教育目標の具現化と学級経営の構想
- ・学級集団づくりと教科等の指導

5限

16:45~17:15(30分)

修了認定試験